

名神名阪連絡道路早期実現の会「いが」設立 令和5年10月3日



上野商工会議所田山雅敏会頭が
当会の初代会長に就任

名阪国道の上柘植IC(インターチェンジ)付近から名神高速道路の八日市IC付近の間を結ぶ「名神名阪連絡道路」の建設促進に向け、『名神名阪連絡道路早期実現の会「いが」』の設立総会が、令和5年10月3日ハイピア伊賀にて開催されました。

本会は、名神名阪連絡道路の早期実現を目指し、伊賀地域の各種機関・団体等と連携しながら、地域経済の活性化と伊賀地域の産業・観光の振興に資することを目的に、このたび新たに設立されました。

設立総会には、本会の趣旨に賛同しご入会いただいた市内18団体の代表の皆様にご出席いただきました(加入会員:20団体)。はじめに設立発起人を代表して、上野商工会議所の田山雅敏会頭が挨拶し、その後国・県・市・民間団体よりご臨席いただいた来賓の皆様よりご祝辞を頂戴いたしました。議事においては、連絡道路整備を地域経済界が一丸となって推進していくことを表明した設立趣意書(案)をはじめ、5つの議案が全て原案通り可決承認されました。

連絡道路が実現すれば、近畿圏と中部圏、更には北陸圏を結ぶ広域ネットワークにより南北軸が形成され、物流や産業の振興など地域経済界にも大きな革新をもたらすだけでなく、災害発生時の緊急輸送道路としての役割を担うことが期待されます。本会設立を契機に道路建設の機運を盛り上げ、今後は国及び三重県等関係諸機関に対し積極的な働きかけを展開してまいります。

設立趣意書

伊賀地域は自動車専用道路である名阪国道の恩恵を受け、製造業を中心とした産業構造により、製造品出荷額が1兆円を超えるなど、県内でも有数の工業集積地として発展してきました。また、伊賀盆地特有の内陸型の気候条件を生かした伊賀米や伊賀牛などの農業生産も盛んな地域です。その一方、名阪国道が事故や気象状況、災害などにより一旦通行止めになれば、地域の物流は滞り、地域経済や産業に多大な影響を及ぼします。このようなリスクを解消するためには、名阪国道と並ぶ新たな国土軸の形成が望まれるところです。

名神名阪連絡道路は平成13年に全線が調査区間に指定され、今年で22年が経過しようとしています。この道路は名阪国道上柘植インターチェンジ付近から新名神高速道路甲賀土山インターチェンジ付近を経て名神高速道路八日市インターチェンジ付近に至る計画ですが、この道路が整備されることで物流や産業の振興など、地域経済界にも大きな革新をもたらす、近畿圏と中部圏、更には北陸圏を結ぶ広域ネットワークにより南北軸が形成され、産業的にも新たな可能性が広がる道路になることが予想されます。また、災害発生時の緊急輸送道路としての役割も期待されることです。

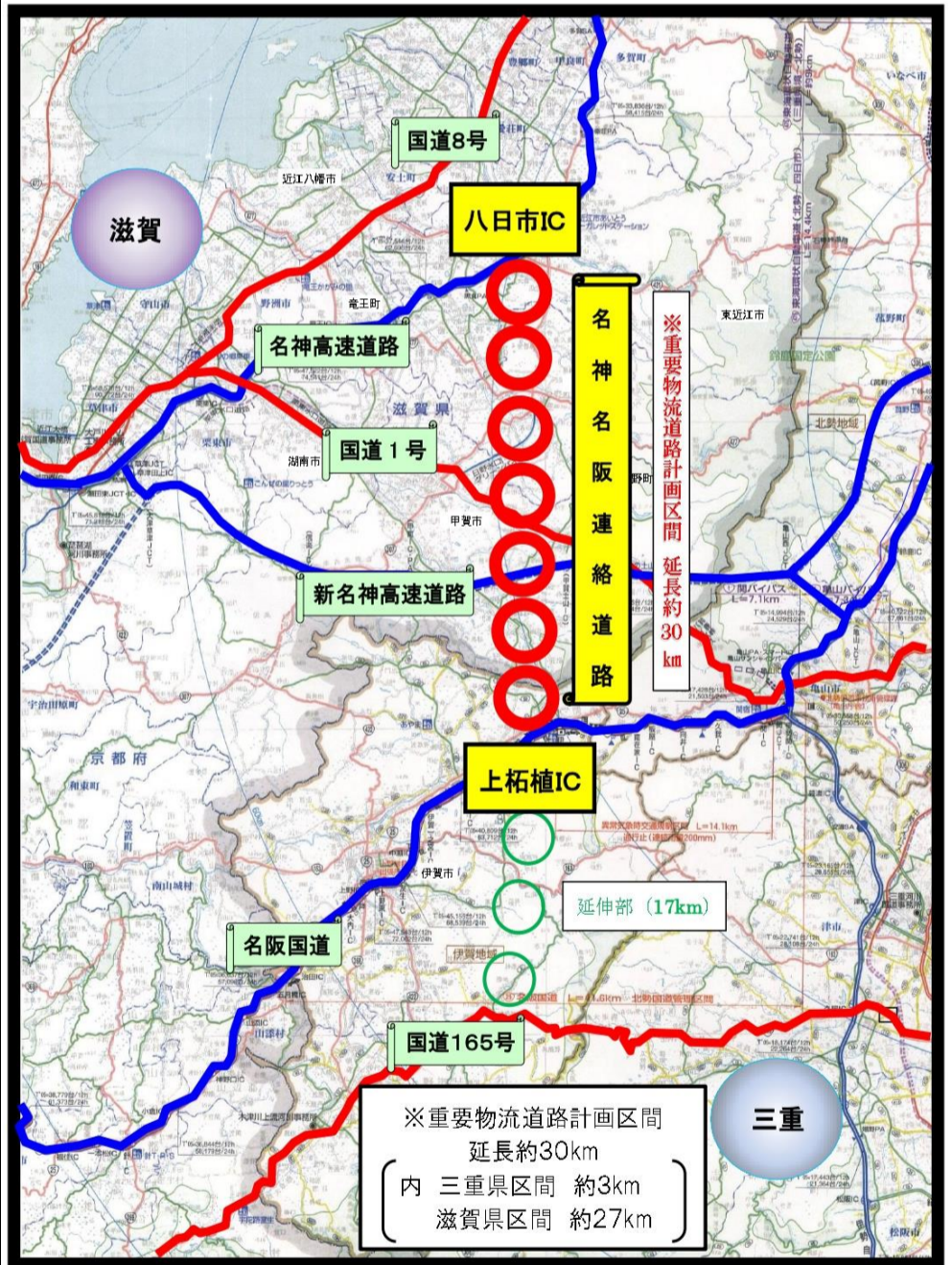
現在、ルート帯の検討も進んでいると聞いており、昨年4月には名阪国道伊賀市柘植町付近から甲賀市土山町の国道1号付近までが重要物流道路の計画路線に指定され、今年4月には名神高速道路八日市インターチェンジ付近から甲賀市土山町の国道1号付近までが追加指定されたことで、全線が重要物流道路の計画区間にもなっています。この動きを的確にとらえ、さらに加速させるため、地域経済界が一丸となってこの道路の整備を推し進めていきたいと考えています。

そこで、このたび地域の経済界などへ呼びかけを行い、名神名阪連絡道路の早期実現を目指し、各種機関・団体等と連携しながら、地域経済の活性化と伊賀地域の産業・観光の振興に資することを目的に、『名神名阪連絡道路早期実現の会「いが」』を設立するものとします。

令和5年10月3日

名神名阪連絡道路早期実現の会「いが」設立発起人

上野商工会議所会頭	田山 雅敏
伊賀市商工会会長	柘植 満博
伊賀ふるさと農業協同組合代表理事組合長	北川 俊一
一般社団法人 伊賀上野観光協会会長	宮崎 慶一
一般社団法人 三重県トラック協会伊賀支部支部長	山本 貞夫



名神名阪連絡道路



【ご加入いただいた会員団体名称】 順不同

上野商工会議所	公益社団法人 伊賀市シルバー人材センター
伊賀市商工会	上野ロータリークラブ
伊賀ふるさと農業協同組合	上野東ロータリークラブ
伊賀森林組合	伊賀上野ライオンズクラブ
ゆめぼりす伊賀立地企業連絡会	一般社団法人 伊賀青年会議所
一般社団法人 伊賀上野観光協会	一般社団法人 伊賀法人会
上野工場団 二十日会	
一般社団法人 三重県トラック協会伊賀支部	
一般社団法人 地域交通研究会	
三重県石油商業組合伊賀支部	
伊賀上野商店会連合会	
一般社団法人 三重県建設業協会伊賀支部	
伊賀市建設業協会	
三重県建築士会伊賀支部	

※事務局ではご賛同いただける多くの会員様を募集しています。本会の目的に賛同いただける伊賀地域の各種機関・団体の皆様を対象です。お気軽に事務局までご連絡ください。

名神名阪連絡道路整備促進期成同盟会要望行動 令和5年11月9日



こやり隆史国土交通大臣政務官に要望を行う三重県・滋賀県の関係者

【名神名阪連絡道路整備促進期成同盟会】

三重県伊賀地域(名阪国道・国道165号)と滋賀県甲賀地域(新名神高速道路)を經由し、東近江地域(名神高速道路)を南北に結ぶ「名神名阪連絡道路」の整備を促進するため、三重及び滋賀両県並びに関係市町が中心となり平成14年に設立した会で、構成団体として上野商工会議所など、関係市町の経済団体等も参画しています。

「名神名阪連絡道路整備促進期成同盟会」の早期事業着手に関する要望が、令和5年11月9日に、国土交通省において実施されました。

当日は、行政から甲賀市長、東近江市長、日野町長や、経済界から当会の田山会長(上野商工会議所会頭)、甲賀市商工会長、東近江市経済団体同友会(八日市商工会議所会頭)、日野町商工会長が出席し、こやり隆史国土交通大臣政務官に、「名神名阪連絡道路の早期事業着手に関する要望書」の提出を行いました。

【主な要望内容】

- (1) 近畿圏と中部圏更には北陸圏を結ぶ広域道路ネットワークとして、早期に実現できるよう調査費の重点配分と、道路構造・整備手法の検討に向けたさらなる支援
- (2) 地域の意見が十分反映されるよう、国県及地域の更なる連携
- (3) 名神名阪連絡道路のストック効果を最大限に発揮させるため、名阪国道から国道165号を結ぶ延伸部についての構想の具体化支援
- (4) 将来にわたって安心して快適に暮らせる持続可能なまちづくりを支えるため、地方の都市および地域拠点のコンパクト化とそれらを結ぶネットワークの構築
- (5) 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に必要な予算・財源について、令和5年度補正予算を例年以上の規模で確保し、計画的に事業を推進されたい。また、対策期間完了後においても、切れ目なく、継続的・安定的に国土強靱化の取り組みを進めるため、国土強靱化実施中期計画を早期に策定し、必要な予算・財源を通常予算とは別枠での確保
- (6) 高規格道路のミッシングリンクの解消、暫定2車線区間の4車線化など、国土をつなぐ幹線道路ネットワークの構築
- (7) 資材価格の高騰や賃金水準の上昇に対応する中でも必要な道路整備・管理が長期安定的に進められるよう、令和6年度道路関係予算の確保
- (8) 激甚化頻発化する大規模自然災害の脅威・危機に即応するための地方整備局等の体制の充実・強化や災害対応に必要な人材の更なる確保

名神名阪連絡道路建設促進議員連盟設立総会 令和5年11月12日



来賓の挨拶を行う田山会長

名神名阪連絡道路建設促進議員連盟設立総会が令和5年11月12日ヒルホテルサンピア伊賀で開催されました。当日は三重・滋賀両県の国会議員、県議会議員、市町議会議員等約100名が参加し、当会の田山会長も来賓として出席いたしました。

設立趣意書では、名神名阪連絡道路の沿線地域は、日本列島の中央に位置し、名神高速道路、国道1号線、新名神高速道路、名阪国道といった幹線道路が集中する交通の要衝です。そのおかげで企業の進出が進み、経済も大きく発展しました。しかしながら、自然災害への備えや、日本海側・太平洋側の都市間の連絡強化や、平常時・災害時にを問わない安定的な輸送と速達性の確保、更なる経済発展のためには、広域道路ネットワークの強化が喫緊の課題です。

名神名阪連絡道路は、北陸自動車道や伊勢自動車道と一体となって、南北軸を形成し、東西方向の幹線道路と連結するという大きな役割を担う道路であり、三重県・滋賀県のみならず、我が国にとって大変重要な道路であり、名神名阪連絡道路の建設に向け、三重・滋賀両県に関係する国会議員、地方議会議員により議員連盟を設立するとされています。

(発起人)

田村憲久、上野賢一郎、武村展英、小寺裕雄
川崎ひでと(敬称略)

(共同代表)

田村憲久、上野賢一郎(敬称略)

名阪国道下り線に看板が設置されました 令和5年12月



名阪国道下り線(天理方面)上柘植インターと下柘植インター間に「早期実現を」の看板を伊賀市において設置いただきました。名阪国道を利用されるドライバーの皆様への認知度が高まればいいですね！